

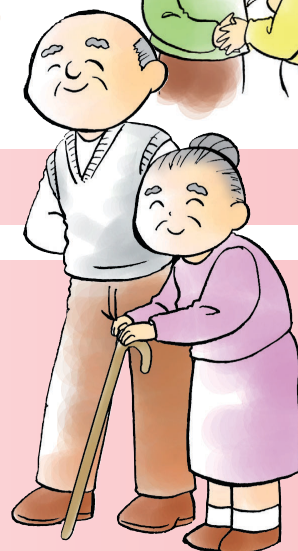
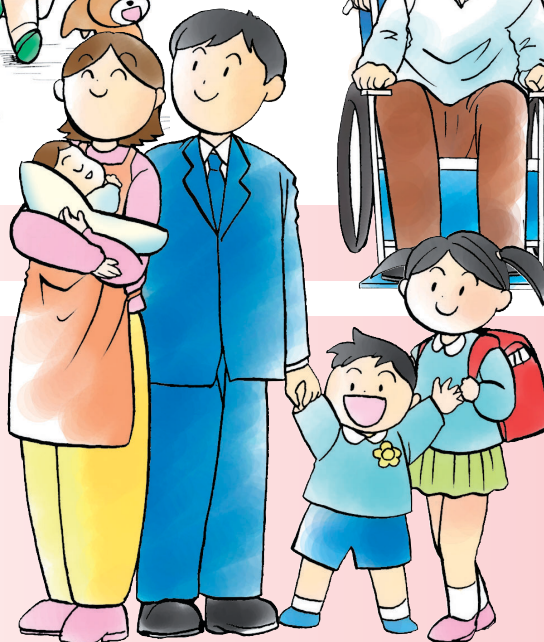
しあわせに 生きたい



廿日市市では、いろいろな機会を設けて
人権についてみなさんとともに考え、
差別を無くしていくための取組を行っています。

人権啓発
パンフレット

No.22



- 子どもの人権～「いじめ」発見は
子どもたちの発する信号をキャッチすることから …… P1
- 高齢になっても住みなれた地域で、
安心して暮らし続けられるために …… P3
- 障がいのある人にとって住みよい社会にむけて …… P5
- 身近な人権問題～言葉の使い方を理解しましょう …… P7
- ささまざまな人権課題についてもっと理解しましょう～気づきから行動へ～ …… P9

「いじめ」発見は子どもたちの発する信号をキャッチすることから

子どもは未来を担う大切な存在です。

しかし、近年「いじめ」による、子どもが被害者となる事案が多発しています。

「いじめ」は見えにくいところで起こっていることが多く、その兆候を見逃しがちです。

子どもたちは、大人が思うほど自分の気持ちをうまく表現することができません。

「いじめられる側」は、つらく、苦しいため、自己否定的な言動が増えたり、家族との会話が減ったりすることがあります。

「いじめられる側」にも問題があるのではと言われていますが、はたしてそうでしょうか。

「いじめられる側」に問題は全くありません。命にかかわる苦しみを味わっています。

また、「いじめる側」は、いじめに遭っている子どもより、その行動に気づきにくい傾向があります。それは、本人に「いじめ」という認識がなかったり、隠そうとするからです。

「いじめ」を周りで見て見ぬふりしたり、はやし立てたりする行為も「いじめ」であることを理解しましょう。

いじめに遭っている・・・そのことを周囲の人にも学校にも言えず、ひとりぼっちで悩んでいます。

私たちは、身近にある「いじめ」を知っているとき、勇気をだして「いじめ」をやめさせ、身近な信頼できる人に相談するよう声をかけましょう。



私と小鳥と鈴と

わたしが両手をひろげても
お空はちつとも飛べないが、
飛べる小鳥はわたしのやうに、
地面（じべた）を速くは走れない。

わたしが体をゆすっても、
きれいな音は出ないけど、
あの鳴るすずはわたしのやうに、
たくさんな唄は知らないよ。

鈴と、小鳥と、それから私
みんな違って、みんないい。

出典
『金子みすゞ全集』（JURRA出版局）より

金子みすゞ（1903～1993）

個性には優劣がなく、それぞれが素晴らしいのだ
ということを表現しています。

「みんないい」は、何かの基準を競い合う現代にお
いて大切なものを語っているようにです。



相談機関

電話による

- 常設人権相談所 広島法務局廿日市支局
月～金曜日（祝、休日、年末年始を除く）8時30分～17時15分
0829-31-2164
- 廿日市人権擁護委員協議会 火、金曜日 8時30分～17時15分
0829-31-2165
- 子どもの人権110番
0120-007-110（全国共通フリーダイヤル）
※携帯電話からも利用可能ですが、IP電話からの接続はできません。
IP電話の方は、082-228-4710へお願いします。

インターネットによる人権相談

- 子どもの人権SOS-eメール
パソコンから <http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken/113.html>
携帯電話から <http://www.jinken.go.jp/soudan/mobile/001.html>



私たちに できること

人にはそれぞれ違いがあります。それは個性です。大切なのは、「いじめられる側」「いじめる側」の理由をはみあたらなくないことです。常に弱い人の立場にたつて考えることも心のOSを見逃さないことが必要です。

「自分の住み慣れた地域で、家族や友人とともに和やかに暮らしたい。」「日々希望をもって自分らしく幸せに暮らしたい。」
私たちはそう願っています。

しかし、そんな願いをはばむ生活上の問題や孤立化など、多くの人が抱えているのが現状です。

このような場面であなたなら どのように思いますか？

最近〇〇さん、
元気がないけど、
大丈夫かな？

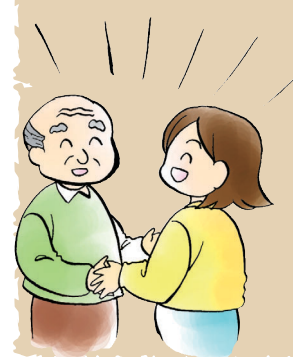


近所の一人暮らしの高齢者である〇〇さん。

いつもは大きな声であいさつを交わしていましたが、最近元気がなく、何か考え込んでいるようです。こんなときあなたならどうしますか。

私たちに
できること

近所で気軽にあいさつしたり、困っている人がいれば声をかけてみましょう。
地域の行事やサロンなどに参加し、高齢者の皆さんとのふれあいの場をつくっていきましょう。
社会参加ができる人は、これまでの経験や知識を活かしてその輪を広げていきましょう。



●地域サロンについて..

●どんなことしているの？

仲間づくりや楽しみづくり、閉じこもり予防などを目的に、市民センター、集会所、民家などを利用して定期的に開催しています。レクレーションや食事会、健康講座など、地域のみなさんの自主的な活動として市内120箇所あまりで、「ふれあいサロン」「地域のつどい」の通称で開催されています。

●サロンでは、参加者を、さらに増やしていくために次のような取組を行っています。

- ・さまざまな世代のサロンの実施
- ・障がいのある人も参加できるサロンの実施
- ・参加者みんなが役割をもったサロンの実施
- ・介護予防教室、健康講座、介護保険制度の説明の場として。

●コミュニティ活動について..

市内各所で地域コミュニティ推進協議会等において敬老会など市民の皆さんが企画した催しものなどが開催されています。

●これからめざそうとする地域社会とは..

高齢の方の「こみ出し」など地域で生活している人に見えにくい生活課題に対応するため、民生委員、地域のボランティアなど様々な地域の人・団体がともに支え合うことがこれからの地域社会に必要です。



相談機関

問い合わせ先

高齢者のこと全般で相談したいとき

- 地域包括支援センターはつかいち (0829) 30-9158
- 地域包括支援センターさいき (0829) 72-2828
- 地域包括支援センターおおの (0829) 50-0251
- 〈地域包括支援センターへつなぐための相談窓口〉
- 社会福祉法人佐伯さつき会よしわせせらぎ園 (0829) 77-2377
- 社会福祉法人いもせ聚楽会宮島ふれあい (0829) 44-0250
- 月～金曜日（祝、休日を除く）8時30分～17時15分

何か相談したいときやサロン、つどい、ボランティア活動等に関する専用電話

- 廿日市地域 社会福祉協議会（あいプラザ内） (0829) 20-0294
- 佐伯地域 社会福祉協議会佐伯事務所（佐伯社会福祉センター内） (0829) 72-0868
- 吉和地域 社会福祉協議会吉和事務所（吉和福祉センターすこやかプラザ内） (0829) 77-2883
- 大野地域 社会福祉協議会大野事務所（大野福祉保健センター内） (0829) 55-3294
- 宮島地域 社会福祉協議会宮島事務所（宮島福祉センター内） (0829) 44-2785

※住んでいる地域にかかわらず、いずれの地域でも相談を受けることができます。
月～金曜日（祝、休日を除く）8時30分～17時15分

市民活動に関すること

- 廿日市市市民活動センター (0829) 32-3741
- 火～日曜日（月曜日、祝、休日、夏季8月14日～16日、年末・年始を除く）

老人クラブ、高齢者の健康づくりに関すること

- 市役所健康推進課（あいプラザ内） (0829) 20-1610
- 月～金曜日（祝、休日、年末年始を除く）8時30分～17時15分

ある日の通勤時間帯の満員状態のバス車内の場面です。
近づいてくるバス停には大勢の人が並んで待っています。
そこに車イスに乗った人がバスを降りようとしたとき、
運転手さんから声をかけられました。

「今度から、すいた時間に乗ってくださいね。」
「・・・」

さて、あなたならどう思いますか。



私たちに できること

障がいのある人にとって住みよい社会は、障がいのない人にとっても住みよい社会です。
知らないこと、無関心でいることが、差別につながる場合があります。「どう接してよいかわからない」といわれる方もありますが、様々な障がいのある人の視点にたって考え、「何かお手伝いできることがありますか?」と声をかけることから始めましょう。

いかにも親切な言葉のようですが、
その人は、とても悲しそうな顔をしていました。
その人も込み合う時間帯に予定がはいっているかもしれせん。
そして、運転手さんは、車内のお客さんに次のように言っべきでしょう。
「ありがとうございます。車いすに乗ったお客さんが降りられますので、皆さまご協力をお願いいたします。」

私たちが日頃何気なく使っている言葉もそれを聞いたり読んだりする人の置かれている状況によっては、差別や偏見と感じたり、無意識に使って相手に不愉快な気持ちに受け取られることもあります。私たちのまわりには、女性、子ども、障がいのある人、外国人などさまざまな人権課題があります。自分の中に無意識に持っている差別や偏見に自ら気づき、常にそれをなくそうとする努力を続けてこそ、差別のない明るい社会が実現されることでしょう。

次の表現についていくつか例をあげてみましょう。時代とともに変わっていく表現もあります。

好ましくない表現の例

好ましくない例

足がない

(身体的表現がよくありません)

障害を持った

(自分から持ったのではない)

知恵おくれ

(おくらしているのではなく障がいの ある)

色盲

(盲の表現がよくない)

アル中

(中毒ではなく依存すぎ)

釣書、吊り書き

(人に対して釣るとはよくない)

登校拒否

(拒否しているのではなく登校した けても行けない)

裏日本

(同じ日本に表、裏はない)

良い例

交通手段がない

障がいのある

知的障がい

色覚障がい

アルコール依存症

経歴、自己紹介書

不登校

日本海側

※廿日市市の公文書は原則的に「障がい」と表記します。

時代とともに変わる表現の例

保母

保健婦、助産婦、看護婦

保育士

H11.4.1法施行

保健師、助産師、看護師

H14.3.1法施行

相談機関

悩み・困りごとの相談

■広島法務局廿日市支局(月～金、祝、休日、年末年始を除く)… (0829) 31-2164

■廿日市人権擁護委員協議会(火、金曜日)…………… (0829) 31-2165

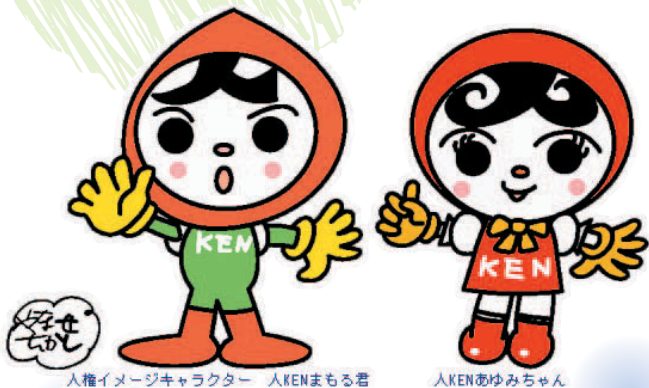
■廿日市市人権・男女共同推進課…………… (0829) 30-9136

※企業での研修や団体の啓発活動のご要望がありましたらご連絡ください。

私たちにできること

大切なことは、言われた人の立場になって、日頃から考え、気づくことが大切です。

人権イメージキャラクターの人KENまもる君と人KENあゆみちゃんです。二人とも前髪が「人」の文字、胸に「KEN」のロゴで「人権」を表しています。全国各地で活躍しています。みなさん、よろしくね!



人権イメージキャラクター 人KENまもる君

人KENあゆみちゃん

星とたんぽぽ

青いお空の底ふかく、
海の小石のそのやうに、
夜がくるまで沈んでる、
昼のお星は眼にみえぬ。
見えぬけれどもあるんだよ、
見えぬものもあるんだよ。
散っつがれたたんぽぽの、
瓦のすきにだアまって、
春のくるまでかくれてる、
つよいその根は眼にみえぬ。
見えぬけれどもあるんだよ、
見えぬものもあるんだよ。

出典
『金子みすゞ全集』(JURRA出版局)より

金子みすゞ(1903～1930)の詩
気づかなかつたもの、見えないものに気づく
大切さを語りかけています。

HIV感染者・ハンセン病患者への偏見をなくそう

HIV（エイズウイルス）やハンセン病に対する正しい知識と理解は、いまだ十分とはいえない状況です。これらの感染症にかかった患者・回復された方などが、周囲の人々の誤った知識や偏見などにより日常生活、職場、医療現場などで差別やプライバシー侵害を受ける問題が起きています。



レッドリボンのメッセージ

レッドリボンはあなたがエイズに関して偏見を持っていない、エイズとともに生きる人を理解し、支援していくというメッセージです。

私たちに できること

エイズウイルスは、性的接触に留意すれば、日常生活で感染する可能性はほとんどありません。

ハンセン病は、らい菌という細菌による感染症ですが、感染したとしても発病することはまれで、しかも万一発病しても、早期治療により後遺症が残りません。

ホームレスに対する偏見をなくそう

自立の意思がありながら、失業などやむをえない事情で路上生活を余儀なくされており、健康で文化的な生活ができない人々が多数存在し、嫌がらせや暴行を受けるなど、ホームレスに対する人権侵害の問題が起こっています。



私たちに できること

ホームレスの自立を図るために国や地方自治体、そして民間団体の努力により社会的支援は相当進んだといえます。

しかし、全国的にはまだ多くの人々が過酷な環境に身を置いている状況にあり、偏見や差別の解消にむけて正しい知識をもつことが必要です。

さまざまな人権課題について考えてみましょう

部落差別をなくそう

同和問題は、日本社会の歴史的過程で形づくられた身分差別により、国民の一部の人々が、長い間、経済的、社会的、文化的に低い状態におかれることを強いられ、今なお、日常生活の上でいろいろな差別を受けるなど、我が国固有の人権問題です。

結婚や就職を中心とする差別事案は、いまだにあとをたちません。



私たちに できること

知識として理解するだけでなく、差別する側の問題、自分自身のこととして「差別をしない、差別を許さない」という正しい認識をもって行動していきましょう。

外国人の人権を尊重しよう

今日、我が国で生活する外国人が急激に増え、平成21年度末では218万人を超えています。そして、言語、宗教、習慣などの違いから、外国人をめぐる様々な人権問題が発生しています。

外国人であることを理由に、アパートに入居させないしたり、公衆浴場においてマナーが悪いとして、一律に入浴が拒否されるなどの事案が生じています。



私たちに できること

一人一人の心の国際化。いろいろな国の人と実際に触れ合うことで、知識としての理解ではなく、異なる言葉、習慣、文化などを持つ人々への温かい思いやりと、異文化に対する柔軟性や感受性が求められています。

社会には、さまざまな立場の人々がいます。私たちは、とかく違う立場の人を「異質」とみなし、排除しようとする傾向があります。しかし、これからのわたしたちに求められているのは、多様性を認め合い、すべての人々の人権が保障された社会をつくることです。

ここからは、さまざまな人権課題について考えてみましょう。

さまざまな人権課題についてもっと理解しましょう！気づきから行動へ！



廿日市市

自治振興部 人権・男女共同推進課
電話 (0829) 30-9136 FAX (0829) 32-1059
(ダイヤルイン)

発行:2011(平成23)年3月